

研究協力をお願い

昭和大学歯科病院では、下記の臨床研究(学術研究)を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

う蝕 ^{しよく} 予防プログラム(CAMBRA)にて測定した齲蝕リスク因子が ICDAS スコアの変動に及ぼす影響
1. 研究の対象および研究対象期間 2018年4月1日から2024年3月31日に昭和大学歯科病院歯科矯正科でう蝕予防プログラム(CAMBRA)を受けた患者さん。
2. 研究目的・方法 当病院の矯正歯科では矯正治療中の患者さんにう蝕予防プログラムコース(CAMBRA)を提供させて頂いています。CAMBRAでは、患者さんごとのむし歯リスクを評価するために様々な検査を行っています(口腔内写真、顔貌写真、レントゲン写真、歯並びの模型データ) う蝕予防プログラム(CAMBRA)のための診査項目(口腔内写真撮影、カリスクリーン(ATP:アデノシン三リン酸測定)、デントカルト(むし歯原因菌の測定・唾液緩衝能・唾液量)、ICDAS、小臼歯・大臼歯部のレントゲン写真)、これらの各検査それぞれの測定値がむし歯の進行や発生にどれほど影響しているかを調査したことはありません。そこで、これまでCAMBRAを受けていただいた患者さんのデータを全て集約し、各検査項目の数値とむし歯の発生および進行との関連性を調べることで、むし歯の発生しにくい健康な口腔内環境づくりを目標として本研究に行います。
3. 研究期間 昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから 2027年3月31日まで
4. 研究に用いる試料・情報の種類 基本問診情報(年齢、性別、主訴、病名、既往歴、家族歴、アレルギーの有無、特記事項記載) 矯正歯科診断のための検査項目(口腔内写真、顔貌写真、レントゲン写真)、歯並びの模型データ う蝕予防プログラム(CAMBRA)のための診査項目(口腔内写真撮影、カリスクリーン(ATP:アデノシン三リン酸測定)、デントカルト(むし歯原因菌の測定・唾液緩衝能・唾液量)、ICDAS、小臼歯・大臼歯部のレントゲン写真)
5. 外部への試料・情報の提供 該当いたしません。

6 . 研究組織

研究責任者	昭和大学 歯学部 歯科保存学講座 保存修復学部門	菅井 琳太郎
研究分担者	昭和大学歯科病院 矯正歯科	芳賀 秀郷
	昭和大学歯科病院 矯正歯科	北 はるな
	昭和大学 歯学部 歯科保存学講座 保存修復学部門	小林 幹宏
	昭和大学 歯学部 歯科保存学講座 保存修復学部門	新妻 由衣子
	昭和大学歯科病院 歯科衛生室	松原 こずえ
	昭和大学歯科病院 歯科衛生室	永里 咲恵
	昭和大学 大学院保健医療学研究科	木村 有子
	昭和大学 保健医療学部 保健医療学教育学	城生 麻里
	昭和大学歯科病院 歯科衛生室	佐藤 祥子
	昭和大学病院 歯科室	坂本 奈津季
	昭和大学歯科病院 歯科衛生室	松田 梢
	昭和大学歯科病院 歯科衛生室	高澤 友里
	昭和大学歯科病院 矯正歯科	中納 治久

7 . お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学 歯学部 歯科保存学講座 保存修復学部門

氏名：菅井 琳太郎

住所：145-8515 東京都大田区北千束 2 - 1 - 1

電話番号：07074658850 (PHS)